

AOPAPILOT

2001 年 1 月

1 オンスの予防

夜間飛行能力

シフは(ほとんど)宇宙に

U-2 を乗せて飛ぶ

降下の計画

クーリエの降下

ヘリオ・クーリエ

飛行機用意...飛行機から取れ！ ゴルフの横顔を空から

ボブ・ミケルソンは主要スポーツイベントに空撮動画を提供する会社である、Winged Vision Inc.の社長です。彼の機は、もちろんヘリオ・クーリエです。「私が行うような撮影に必要な対気速度で安全に操作できる機はこれしかありません。」とミケルソンは言います。「テレビのプロデューサーはきれいで安定した画像・飛行船から撮れるような画-を求めています、ヘリオは安定した低速飛行が非常に得意です。」

ミケルソンとそのヘリオは良くメットライフに依頼されて仕事をしています。メットライフが広告協賛する多数のイベントの間が詰まっている時、スヌーパー1とスヌーパー2(メットライフの飛行船)が全ての会場に行けないことがあります。そうするとミケルソンに声がかかります。

今年6月、スヌーパー1はペンシルバニア州ベツレヘムのソーコンパレーCCで開催されるシニア・オープン・ゴルフトーナメントの中継を行うはずでした。しかしそれは運命に阻まれました。アリゾナ州でスヌーパー1は係留柱にぶつかり、かなりの損傷を受けました。ミケルソンの電話が鳴り、彼はすぐに行動に移りました。

問題は、パイロットのマーク・オグレービスが結婚を控えており、シニアの飛行の担当をできないことでした。ヘリオの飛行を代理で4日分務めることに興味があるか、とたずねられたとき、私の答えは絶対イエスでした。すぐに未来の花婿がヘリオ上で私をチェックしてくれました。

2日後、私はミケルソンを手伝ってアレンタウン・ベツレヘム空港でカメラのポッドの据付を行い、カントリー・クラブ上の6回のフライトのうち、初回のフライトのため左側の座席に乗り込みました。私たちの撮影はESPNとNBCによるシニアの中継の一部になるはずでした。ミケルソンは後部に座り、ジョイスティックその他のビデオ機器を操作していました。滑走路に向かう途中、ガルフストリームJV(N1JN)、ボンバルディエ・チャレンジャー(N1TW)、そしてセスナ・サイテーションX(N1AP)が見えました。これらはもちろん、ジャック・ニクラウス、トム・ワトソン、そしてアーノルド・パーマーの個人機です。

この仕事はゴルファーたちがゴルフし、ミケルソンがプレーを撮影する間カントリークラブの上を単純に巡回するというものでした。私にとってはコースを理解し斜め15-30度の角度を保ちながら50ノットで飛行することに慣れるのが大変でした。テレビの画面上に画像が回転しているようになるべく見えないようにするには、これほどゆっくり飛行しなければなりません。

ですから私は吸気圧力18フィートから20フィート、回転数2300rpmと、とんでもなく遅く感じられる大気速度で飛んでいたわけです。前夜と当日の午前中は上空から18ホールがどのように見えるか覚えようとしていましたが、本物は観客に配られるパンフレットのようにあまり見えません。同時にヘッドセットからは不快な音が聞こえてきます。アレンタウンの管制が航空交通について話しかけてきます。ミケルソンは「さあ8ホールに行こう」とか「あそここの林の間の隙間が見えるか」とか言っています。さらにはるか背景にはテレビのコメンテーター、喝采、カメラマンやスタッフに怒鳴りつけるディレクターの声、そしてコース上の技術スタッフの声だったのでしょか、気味の悪いささやき声も聞こえていました。これはシュールでした。「これをやったらテレビのスポーツ番組を以前とは同じものと思えなくなるよ」とミケルソンは言いましたが、その通りでした。

しゃべり声が大きくなります。

「紫を巻け」とディレクターが言いますが、これはテープデッキのことで、「5、4、3、2、1、エルビスを巻け(別のテープデッキ)。アンバーをスタンバイ。アンバーを巻け。いいか、ドッグ(カメラマンのあだな)。撤収、ドッグ。」

ここでコマ・シャルに続く音楽が聞こえてきます。

それからまたアレンタウン管制。「ノベンバー・ワン・エイト・ジュリエット・ヤンキー、貴機200フィート下12時の方向、北に向かう交通あり」最高。言われたとおり、トーナメントを見ようと機を操作するセスナ310が見えました。ここに観光客はいりません。どうせ空を見渡すより地面ばかり見ているのですから。

「さて、この美しいソーコンパレー・カントリークラブにて...」とここでアナウンサーが言います。私はモニターを見て、ミケルソンがクラブハウスを捉えたのに気づきます。

「飛行機用意...飛行機から取れ！」とディレクターが言い、私たちのビデオが突然番組の一部になります。

そしてまたコース上の技術スタッフたちのささやき声です。「ケチャップとお湯が気に入るかもよ...なんて言うんだっけ、エッグクリーム?...クリーブランド出身...野獣の腹にお前を乗せてやる...シアサッカー着ている奴を見ろ...あいつを夜見るべきだな...」

「フライヤー、タイト、ボブ！飛行機、8にいるか？飛行機を取れ」そして「キャディーなんか映しやがるな」とディレクターが怒鳴ります。

その間ずっとミケルソンは静かに眼下のプレーを撮影しています。彼はティーからフェアウェーまでのドライブショットを追跡することも、ボール一つに極度にズームアップすることもできます。彼は飛んでいる最中のゴルフボールをキャディーたちより速く見つけられるのです。その間左翼の下のポッドに取り付けられたカメラは、乱気流にも関わらず岩のように安定しています。ジャイロ安定により、レンズの焦点はミケルソンがコンソール上のジョイスティックで選択した箇所に留まっています。

カントリークラブの西側には峰があり、午後半ばには乱気流がそこから吹き降ろしてくるのです。ときどき衝撃で機のストラットが、突然ボタンと飛び出していきます。翼の機内側の部分は故障寸前のようなので、ぞっとさせられますが、それにも慣れてしまいます。

こんどは受信に問題が出てきました。わたしたちの「キャッチャー」であるデーブ・スタイナー(彼は機上のアンテナに狙いを定め、私たちからのマイクロ波によるビデオ信号を受信する役目です)から、私たちからの画像が彼を取り巻く山のような電子機器からの干渉に影響されていると文句を言います。縦線が私たちの画像に表れます。

「ハンバッカーを当ててみようか。」とスタイナーが言います。ハンバッカーとはレンジのようなもので、近くの電氣的接地からの干渉をフィルターします。これを接地用ワイヤに当てるのです。「ああ、ハンバッカーをやってくれ。」とミケルソンが言います。私もやる気です。「ああ、ハンバッカーだ。」私も言います。

スタイナーのハンバッカーはうまくいき、シニアのための飛行の残りの 4 日間は全てうまくゆきました。その夜夕食の際、一日中私たちからの信号に狙いを定めていたスタイナーは、そっけなく「君たちはコースを 90 回回ったよ。」と言いました。

金曜日、私たちは N1AP の後を追って滑走路に向かいました。アーノルドは予選を通過せず、ペンシルバニア州のラトロープの自宅に帰るのです。土曜日までには NBC のための撮影も行い、コースのホール全てを知り尽くしました。日曜日までには NBC はヘリオからの画像を多く使いました。これは私たちの画像は飛行船からのそれにも劣らないというしるしです。

アレントウンからメリーランド州フレデリックの自宅に帰る間、私たちはマウント(ヘリオのアーマメントのハードポイントに設置されている)からカメラポッドを取り外し、120 ノットで巡航できました。ポッドが設置されていたら、100 ノットがやっとだったでしょう。普段どおり、アプローチは 60-65 ノットで、ハーフフラップで行いました。オグレイブスによれば、「スカイホーク・スタイル」だとのこと。私はまだヘリオで 700 時間も飛んでいるオグレイブスのように、フルフラップで 40 ノットのアプローチ、着陸ロールを 200 フィートで行うことはできません。フレアしようとするスラットが「バンバン」と飛び出し、500 フィート以内で着陸しました。

これはもっともユニークなヘリオ・クーリエ(3 サイクルギア版として作られたわずか 19 機の中の 1 機)に最も興味深い仕事で乗った、素晴らしい 4 日間、23 時間の飛行でした。ああ、それからヘール・アーウィンが優勝しました。

ボブ、私は喜んでまたやりますよ。それからハンバッカーも忘れずに。-TAH

[photo caption/写真の説明:]

個別に作動する 4 つのスラット(左上)が高角度でのアタック時に伸展し、ヘリオ・クーリエの模範的な低速飛行での動きを可能にする。Winged Vision Inc. の 36Kg のジャイロ安定化レンズを取り付ける(上)作業は筋力と慣れた手が必要。パワーアップしたレンズは、広大な範囲を滑らかに動き回ることができる。インターセプター(上)はスポイエロンのように働き、低速での回転時にヘリオを補助する。